

平成28年度文部科学省補助事業

「保健教育推進研修会」

少子高齢化と人口減少という大きな転換期を迎えた我が国においては、人々の健康課題はますます複雑で多様になり、将来に向けてさらに顕在化していくことが予想されている。そうした中で、小学校体育科保健領域、中学校保健体育科保健分野および高等学校保健体育科科目保健における保健教育は、これらの課題に適切に対処する資質や能力を学齢期において育成し、国民として最低限持つべき健康に関する教養（健康リテラシー）の基盤を培うものであり、極めて重要である。

そこで、本会が推進する健康教育の一環として、保健教育の最新の考え方に基づく指導と評価の在り方について理解を深め、その実践と普及に寄与する指導者の資質・能力の向上を図るために研修会を実施する。

2016年12月26日(月)10:00~16:30

(9:30開場)

県民福祉プラザ

参加対象：保健教育を担当する教諭、行政担当者 等教育関係者

募集定員：100人(申込先着順・定員になり次第締切)

基調講演

保健教育の基本的な考え方と今後の方向性

森 良一 文部科学省教科調査官

講義・演習

①保健教育における指導と評価の考え方と進め方

野津 有司 筑波大学教授 (平成24~26年度保健学習推進委員会委員長)

植田 誠治 聖心女子大学教授 (同委員会副委員長)

渡邊 正樹 東京学芸大学教授 (同委員会副委員長)

今関 豊一 国立教育政策研究所部長 (同委員会副委員長)

②指導資料の実践事例についての検討

(小・中・高等学校別グループ演習)

③伝達研修のためのプレゼンテーションの工夫

(小・中・高等学校別グループ演習・全体発表)

主催：公益財団法人 日本学校保健会

共催：青森県教育委員会 青森県学校保健会

【お申込方法】

◇ポータルサイト「学校保健」<http://www.gakkohoken.jp/>研修会申込ページより申込

12月2日(金)締切

公益財団法人 日本学校保健会 事務局 担当：永井 昌枝

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-3-17 虎ノ門2丁目タワー6階

TEL：03-3501-0968/FAX：03-3592-3898 E-mail：nagai@hokenkai.or.jp

